

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2007-220884
(P2007-220884A)

(43) 公開日 平成19年8月30日(2007.8.30)

(51) Int. Cl.	F I	テーマコード (参考)
H05K 3/34 (2006.01)	H05K 3/34 501F	5E319
H01L 21/60 (2006.01)	H01L 21/60 311S	5F044
H05K 3/32 (2006.01)	H01L 21/92 603C	
	H05K 3/32 Z	

審査請求 未請求 請求項の数 30 O L (全 20 頁)

(21) 出願番号 特願2006-39273 (P2006-39273)
(22) 出願日 平成18年2月16日(2006. 2. 16)

(71) 出願人 304028346
 国立大学法人 香川大学
 香川県高松市幸町1番1号

(71) 出願人 000010098
 アルプス電気株式会社
 東京都大田区雪谷大塚町1番7号

(72) 発明者 小川 一文
 香川県高松市林町2217番地20 国立
 大学法人香川大学工学部内

Fターム(参考) 5E319 AA03 AB01 AC16 AC17 BB11
 BB20 CC61 CD04 CD26 GG01
 5F044 KK01 LL00 LL13 QQ06

(54) 【発明の名称】 電極とその製造方法およびそれを用いたリード配線とその接続方法およびそれらを用いた電子部品と電子機器

(57) 【要約】

【課題】

電子デバイスの微細化高密度化に伴い、電子デバイスやプリント基板上の配線を微細化する必要があり、配線端部の電極突起を均一な厚みに形成する必要があった。

【解決手段】

配線端部またはリード線端部の表面に選択的に1層形成された導電性微粒子の膜が配線端部表面またはリード線端部に選択的に形成された第1の有機膜と導電性微粒子表面に形成された第2の有機膜を介して互いに共有結合していることを特徴とする電極およびこれらの有機膜が互いに異なることを特徴とする請求項1記載の電極。

【選択図】 図4

